

『人権 happiness』の閉級式が行われました。

12月6日（水）

今日は『人権 happiness』の閉級式が行われゲストとして木の実学級の4名による講演会や寸劇、生徒との交流を行いまとめの会になりました。青垣中学校では、人権について考え、主体的に活動する自主組織の伝統が続いています。この青垣中学校の伝統を生かし、人権について考える自主的な組織をつくろうと結成されたのが『人権 happiness』です。2005年、丹波市では、「いのちと人権を大切にすることを育てる」ことを中心にした「生き方を育む校区事業」が始まりました。青垣中学校のすべての生徒を対象として、人権について考え、学ぶ自主的な組織を作ることとなりました。この組織が『人権 happiness』です。今年度は、23名が参加してくれます。現地学習会や丹波市人権交流集会に参加し人権について学びました。『人権 happiness』で自主的に人権について学習し、身近な差別を許さず、いじめや虐待、性被害等のこどもの人権問題、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別、部落差別（同和問題）、ハンセン病問題といった多様な人権問題が依然として存在しています。これらの問題の解決には、私たち一人一人が様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めて来年度も全校生徒でしっかり取り組んでほしいと思います。

人権 happiness（閉講式）の様子

